

見守り 新鮮情報

知らない事業者から「今よりも**電気料金が安くなる**。**電気料金の明細**を教えてほしい」と電話があった。よく分からずに言われるまま**検針票**に書かれた番号などの情報を伝えると、

封書が届いた。数日後、「書類は届いて

いるか」と電話があり、そこで

初めて封書は**電気契約**の

切り替え手続きの書類

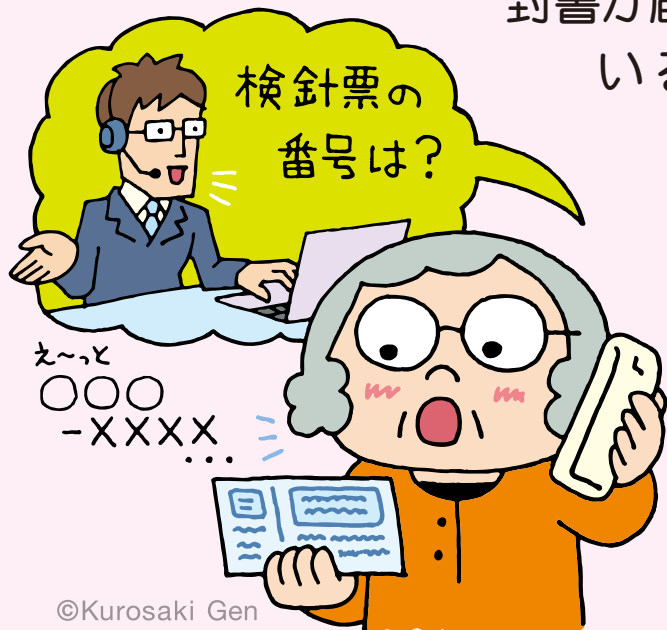
であったこと、1週間前の

電話で**契約**の申込みを

したことに**なっていた**

ことが分かった。

(60歳代 女性)



いつの間にか切り替えに 電気の契約切り替えトラブル

ひとこと助言



- 電力の小売全面自由化以降、電話勧誘による電力切り替えに関するトラブルの相談が寄せられています。
- 電力会社等から電話を受けた際は、事業者名や内容をよく確認し、必要なければきっぱり断りましょう。
- 切り替えに必要な住所や供給地点特定番号等の情報は、現在契約している会社が発行する検針票に記載されています。検針票の記載情報を伝えたところ、勝手に別の会社への切り替え手続きをされていたというケースもあります。安易に検針票の記載情報は伝えないようにしましょう。
- 困ったときは、お早めにお住まいの自治体の**消費生活センター**等(消費者ホットライン 188)、もしくは経済産業省電力・ガス取引監視等委員会の相談窓口(03-3501-5725)にご相談ください。